

令和6年9月29日

作成：風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部

第4回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和6年9月28日(土) 午前10時00分～午前11時45分
- ◆ 会 場：沼南近隣センター2階 学習室1・2
- ◆ 出席団体：箕輪区・新舟戸町会・井堀内町会②・大木戸町会・追花町会・柏東パークホームズ管理組合②・中郷町会・中の橋町会・舟戸町会②・緑台町会・沼南エリカマンション③・塚崎区・塚崎三丁目自治会・大津ヶ丘一丁目町会・大津ヶ丘三丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会②・サンパワー区管理組合・大津ヶ丘第一住宅管理組合・同第三住宅管理組合・グランシティ大津ヶ丘管理組合・リバティーヒル柏自治会・手賀の杜自治会②・特別養護老人ホームあおいの里・大津ヶ丘中学校・大津ヶ丘第一小学校・同第二小学校 以上 26 団体／32 名…
○数字は2名以上参加者数

オブザーバー参加：市民生活部市民活動支援課・沼南近隣センター：2名

本会議ご欠席の団体：五條谷区・大井区(長)・大島田区・塚崎二丁目自治会・大津ヶ丘二丁目町会・大津ヶ丘第四住宅管理組合・同第五住宅管理組合・プロムナード大津ヶ丘管理組合・塚崎パークヴィラ自治会※・風早中学校・風早北部小学校
※安否確認訓練実施日のため欠席の連絡（午後の無線機交信訓練には参加）

◆ 議事録（案）：

1. 防犯防災部長冒頭あいさつ

8月の本会議が台風接近の影響で中止し、そのまま本日に延期実施となった。先般の能登地方大雨災害には心が折れる思いがした。震災復興の中地元自治体に今回の災害に耐えきれぬ力は残念ながらも、地域(ふるさと)がなくなってしまうことの危惧が頭をよぎった。自治体(公助)の限界を知る反面、われわれ地域(共助)と市民・住民の力(自助)を發揮できないと、発災時にはこうした被災地住民と同じ境遇に陥る可能性が高いことを改めて考え、是非今期の防災活動を実りあるものとしていただきたい。そのための助力を当会も惜しまず提供させていただく。

本日は、前回流会となった「柏市上下水道局のご協力による学習会」を企

画しましたので、是非勉強してってください。また、今期の地域防災訓練を予定の団体におかれては、前回に続き協議機会を設けましたので、真摯な話し合いでの訓練実施を目指していただくようお願いします。

2. 協議内容

(1) 第2回会合議事録案の確認👉了承された内容は「案」を外しHP掲載
(2) 柏市管内水位測定システム(通称「Riskma(リス熊)」)に関する一般住民

向けの説明を、市上下水道局職員を講師に招いて実施【配付資料参照】

- ✓ 配付資料に沿って同システムの概要を解説。
- ✓ インターネットを介して同システムにアクセスし、実際にどういったことが閲覧できるかを学んだ(同システムの概要や閲覧可能情報の詳細については今後発行の当会防災ネットしょうなん特別号にて案内を予定→10/31付防災ネットしょうなん号外版をHP掲載)。
- ✓ 会場からの質問など

《質問》センサーが設置可能なのは雨水管でよいか？

《回答》その通りです。風早北部地域はこの雨水管が他の地域より少ないこと、比較的高台が多く内水氾濫の危険性が他の地域に比べ高いことで、センサー設置が全域で未了となっています。雨水管の市内での設置割合は全体の2割程度で、より洪水氾濫のリスクが高い他の地域に優先してセンサー設置がされている。

《質問》最近当地域内でのマンホール工事が目立つが、これは何故か。

《回答》概ね10年から20年で経年劣化することによる改修工事と思われる。

《質問》大津川沿いで河川氾濫の心配があるが、市として県や国と連携して氾濫防止に取り組めないのか。

《回答》国は専ら河川氾濫対応、県は污水管への対応が主である。雨水管設置には1メートルあたりでもおよそ100万円の費用がかかるといわれており、改修が容易でないことをご理解いただきたい。その意味で、公助の限界を踏まえた共助や自助でのご対応(例として、災害非常時に自家用車の高台への移動避難、自宅では2階以上の高所避難行動など)をお願いしたい。

なお、今回のシステム閲覧を市民に開放した(同システム導入も全国自治体では初の試み)ことについては、地価への影響もあり苦渋の判断で

あったが、全国的にこれだけ大規模風水被害が毎年どこかで発生している状況下では、こうした積極的な情報開示は避けられないものと判断した結果であることも是非ご理解いただき、各地域や各世帯での適切な対応をお願いしたい。

(3) 今期の避難訓練実施の協議（分科会形式で前回からの協議を継続）

避難所開設手順書の作成に関しては、事務局から雛形として沼南高等学校版の案を今後提示予定であることを伝え、これを基に各学校版のたたき台作成をめざし、各避難所グループには年内に共有の予定。年明け1月の本会議で改めて作成を協議することで提案した。

今期の各団体の防災訓練等の内容につき、これまでに集約（本日がその報告最終日）した内容を取りまとめ、今後住民向けのニュース等で当会より開示の予定。

塚崎区から、10月20日に実施する風早中学校での避難訓練において、主に高齢者向け「スマホ操作の講習会(仮称)」を予定していることの報告があった。デジタル情報を使った防災対応役立ち訓練との趣旨で実施されるとのこと。

(4) その他

- 書類ファイルホルダー受給希望者（本日までに計10名）に現物を配給(欠席者には個別に対応)。本会場でさらに2名からの希望を受け、今後追加で発注の上、来月中にはお渡しする予定。→10月末までに全員に配付済み。
- 防災訓練実施に当たっての事前留意事項として、①公園や駐車場などの公共施設を利用するにあたっては、管理者の了承を得ること、市の場合は緑地管理課への申請(届け出)が必要でその様式を紹介、②訓練実施役員の傷害保険は柏市で加入する保険で対応可能のため、役員名等の管理を各団体に要請、③一般住民は事前の把握が難しく、事前に各団体で包括の障害保険への加入を推奨した(例として安価で加入できる共済保険制度を紹介)。
- 更に今期においては、防災訓練の準備に加勢した中学生や高校生には、当会から事後に「キッチンラップ」を進呈することを伝え、各団体で該当住民がいる場合は、その報告をお願いした。
- 9月～来年1月までに、当会発行予定の防犯・防災ニュースの増刷希

望への対応につき案内した。

- 本会議後に、トランシーバーの交信、感度確認を希望者との間で実施することを案内した（参加団体は3団体：塚崎パークヴィラ自治会の本日の安否確認訓練結果報告を含む）。
- 広報紙面発行(各団体への配布)部数の確認を行った。次回は11月1日の広報しょうなんが対象となる。
- 次回は11月23日午前中「防犯講習会」の内容で当センター大ホールを会場にして開催の予定。当会議出席メンバーは事前の出欠連絡は不要。他の役員や知人、一般住民の方々にも受講の声がけをお願いした（今後、11月1日付広報しょうなん第46号にて案内予定）。

以 上